

# 2017年度日本犯罪学会大会

公開シンポジウム「人はなぜ暴力を振るうのか、その対策とは」

龍谷大学 深草学舎 22号館 101教室

13:00 開会

13:15 基調講演「暴力の解剖学」

ペンシルベニア大学教授 エイドリアン・レイン氏

14:45 休憩

15:00 シンポジウム「日欧比較：女性に対する暴力被害調査」

司会 浜井浩一氏（龍谷大学）

報告

・サミ・ネバラ氏（ヨーロッパ連合基本的人権機関）

「EUが実施した女性に対する暴力被害調査の目的と成果」

・浜井浩一氏（龍谷大学）

「日本の調査実施プロセス」

・津島昌寛氏（龍谷大学）

「日本調査からわかったこと」

指定討論 岩井宜子氏（専修大学名誉教授）

17:50 閉会

## ○大会スケジュール

10月20日(金) 16:00 新旧理事会（紫光館5階会議室・サロン）

10月21日(土) 11:00 総会（22号館101教室）

10月21日(土) 12:00 編集委員会（22号館101教室）

## ○お問合せ先

龍谷大学矯正・保護総合センター研究委員会委員長 浜井 浩一

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL: 075-645-2154 / Fax: 075-645-2240

（会場案内図）



《 公開シンポジウム 》

2017年 10月21日(土)

13:00 ~ 18:00

（開場 12:30）

先着 300名 FAX 申込

当日参加可能

逐次通訳あり

公開シンポジウム【共催】

科学研究費補助金基盤研究(A)「女性に対する暴力の実態把握と科学的妥当性・信頼性の高い被害者調査の創出」(課題/領域番号 15H01922)

日本犯罪学会、龍谷大学矯正・保護総合センター、龍谷大学犯罪学研究センター、科学研究費補助金、龍谷大学社会科学研究所

## 講演者紹介

エイドリアン・レイン氏 (ペンシルベニア大学・教授)

暴力の生物学的基盤の解明を目指す新たな学問分野 “神経生物学” の第一人者。2015年に紀伊国屋書店より翻訳出版された「暴力の解剖学」においては、脳、遺伝、栄養状態等の生物学的要因と生育環境や貧困等の社会的要因およびその相互作用から、いかに暴力的な性格が形成されるか開設している。また同書において、最新の研究成果の実用化に際して直面する倫理的・法的問題を指摘し、より暴力の少ない未来の実現へ、具体策を提言している。

(著作紹介は、AMAZONより参照・引用)

## シンポジウム「日欧比較：女性に対する暴力被害調査」企画趣旨

FRA (European Agency for Fundamental Rights) とは、EU 直轄の機関であり、EU 域内での人権擁護活動（調査・教育等）を主たる任務としている。

今回、日本で実施した女性に対する暴力被害調査は、ERA が EU28 カ国で同時に実施した Violence Against Women : an EU-wide survey を調査責任者等の協力を得て、日本で実施したものである。

EU での調査は、「ヨーロッパにおける女性の幸福と安全に関する調査」という名前で実施され、数度のパイロット調査を経たのちに、調査票が確定され、本調査が、行われている。これまでの EU 域内で個別に実施されてきた調査と比較して最も標準化された女性に対する暴力調査である。調査項目は、現パートナーやそれ以前のパートナーからの DV 暴力被害、ストーカー被害、セクハラ被害等について、暴力の形態や頻度を含む詳細な内容を含んでおり、女性のみを対象にすべてインタビュー方式で実施されている。今回の日本調査において FRA から出された実施条件は、インタビュー方式による面接調査の実施と調査員に対する研修会の実施であった。

FRA が示している調査の目的は、以下のとおりである。

- ・女性に対する暴力被害の実態を知る
- ・女性に対する暴力に対する関心を高める
- ・女性を保護するために法整備を行う
- ・暴力被害者に対する支援サービスの開発

日本における調査は、科学研究費補助金（研究代表：津島昌寛）によって 2016 年 11 月に実施され、現在結果を集計・分析中である。

本調査における最大の特徴は、EU が初めて統一した形式で実施した「女性に対する暴力被害調査」を全く同じ方法論を用いて日本で実施したことにあり、日本における女性の被害実態等を EU 諸国との比較の中で検討することが可能になった点である。

今回のシンポジウムでは、日本の結果を公表するとともに、EU の調査責任者であるサミ・ネバラ氏を招き、本調査の意義を検討する。

## お問合せ先

龍谷大学 大会実行委員長 浜井 浩一

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 Tel : 075-645-2154 / Fax : 075-645-2240

※公開シンポジウムは当日参加も可能となっております。ぜひ、ご参加くださいませ。